

令和2年度 決算 審査 のあらまし

令和2年度一般会計及び8特別会計決算等のあわせて9認定議案(総額3,163億3,478万6,026円)について9月27日に設置された決算特別委員会において9月28日、29日、30日、10月1日、4日、5日の計6日間にわたり審査が行われました。その結果、10月7日の本会議で全決算議案が可決及び認定されました。ここでは、決算特別委員会の審査の概要をお知らせします。

委員長	永井 謙	副委員長	山口 政哉
委員	土屋 俊則	委員	石井 世悟
〃	西 智	〃	谷津 英美
〃	清水竜太郎	〃	佐野 洋
〃	堺 英明	〃	松下賢一郎

姉妹友好都市親善事業

動画配信によるオンライン交流 今後の活用も検討を進める

質問 昨年度、東京オリンピック・パラリンピック延期に伴い都市親善が行えなかったが、それに代わるイベントとして開催されたオンライン絵画展について、多くの閲覧があった。その要因と、検証結果について聞きたい。

回答 昨年度、市制施行80周年記念事業として開催した、姉妹友好都市オンライン児童絵画交流展は、ユーチューブと市のホームページで公開し、千回以上のアクセスがあった。そのうち2割は海外からのアクセスであり、海外の姉妹友好都市や松本市に情報共有したことにより、各都市を通じて海外から多くのアクセスがあったと捉えている。

質問 このような動画配信を行うことで、コロナ禍において直接交流できない側面を補完できると考えるが、今後の取組について聞きたい。

回答 継続的な実施は現時点においては未定であるが、直接的な交流ができない場合、動画の配信は有効な交流手段であると捉えている。今年度の昆明市との友好都市提携の周年事業の中でも活用したいと考えており、今後の活用についても引き続き検討していく。



サンセットマルシェ等を活用し有機農業の理解につなげる

教育委員会委員の任命等に同意
藤沢市在住
成重恒夫氏(再任、平塚市在住)
個人情報保護審査委員の委嘱について
藤沢市個人情報保護審査委員の1人が、令和3年7月30日をもって辞任したことに伴い、後任の委員を委嘱することについて、議会の同意を求めた。議会はこれに同意した。任期は3年9月27日から4年3月31日まで。

教育委員会委員の任命等について
藤沢市教育委員会委員の1人が、令和3年9月30日をもって任期満了となるため、委員を任命することについて、議会の同意を求めた。議会はこれに同意した。任期は3年10月1日から7年9月30日までの4年間。
種田多化子氏(新任、藤沢市在住)

公平委員会委員の選任について
藤沢市公平委員会委員の1人が、令和3年9月30日をもって任期満了となるため、委員を選任することについて、議会の同意を求めた。議会はこれに同意した。任期は3年10月1日から7年9月30日までの4年間。

下土棚遊水地の活用 多様なスポーツの場 引地川流域の治水事業

質問 直接交流ができない場合、動画の配信は有効な交流手段であると捉えている。今年度の昆明市との友好都市提携の周年事業の中でも活用したいと考えており、今後の活用についても引き続き検討していく。

有機農業者と消費者 つなげる機会増やす

質問 農林水産省ではCO2削減に向けて、令和3年5月にみどりの食料システム戦略を策定した。化学肥料を削減し、2050年までに有機農業の取組面積を全耕地面積の25%にすることを目標としている。本市としても取組を進める必要があると考えるが、市の見解を聞きたい。

回答 本市の有機農業の割合は2%程度のため、25%にするためには、有機農業の理解を深め、有機農業の生産者が安心して生産を続けるためには、安定した消費が重要であり、この見通しが立つことは生産者の向上にもつながり、好循環を生み出すと考えられる。市の取組や考えについて聞きたい。

質問 このように生産者と消費者がつながる機会を増やすことが、有機農業の理解につながると考えており、農業水産課が行う講座等でも有機農業者に協力いただき推進に取り組んでいく。

補助事業の今後の展開 サテライトオフィス誘致 現状を整理し検討する

質問 海と緑に囲まれた住宅都市として本市の価値を上げるために、誰でも使えるリモートワークの環境づくりは非常に重要である。サテライトオフィスの整備に対する補助金制度が始まり、よい取組であると考える。現在の交付決定状況を聞きたい。

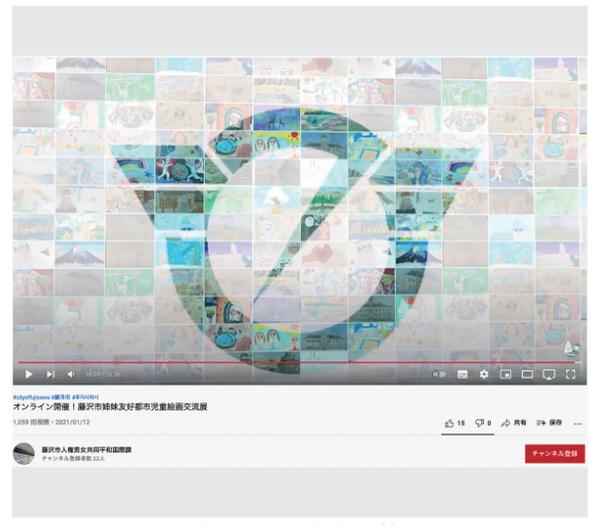
環境意識の啓発 学校での取組を推進

質問 環境啓発は、フェアやイベントではなく、COOL CHOICEなどの環境に対する意識が低い人を振り向かせる仕掛けが必要である。国が発信したもののだけでなく、本市も独自に取り組むべきと考え、市の見解を聞きたい。

回答 本市としても、市民がやってみようと思える仕掛けを、COOL CHOICE以外にもつくってほしいと考えている。その一環として、来年度から、小学校4年生と児童クラブ等の子どもたちに対し、地球温暖化や食品ロスに関する取組等を行う予定である。

コロナ禍の学び ICT活用を進める

質問 いまだコロナの収束が見通せない状況下で、感染の不安から自主休校を選択している家庭の実情について、どのように把握しているのか聞きたい。



動画配信等を活用し都市親善を進める

質問 海と緑に囲まれた住宅都市として本市の価値を上げるために、誰でも使えるリモートワークの環境づくりは非常に重要である。サテライトオフィスの整備に対する補助金制度が始まり、よい取組であると考える。現在の交付決定状況を聞きたい。

回答 藤沢市サテライトオフィス等整備事業補助金について、令和3年9月時点では、10件の申請のうち5件の交付を決定している。申請件数に対して交付件数が半分であり、条件に合うのが難しいのではないかと考える。大規模なサテライトオフィスの誘致を加速化するためには、補助額の引上げも検討すべきと考えていく。

環境意識の啓発 学校での取組を推進

質問 環境啓発は、フェアやイベントではなく、COOL CHOICEなどの環境に対する意識が低い人を振り向かせる仕掛けが必要である。国が発信したもののだけでなく、本市も独自に取り組むべきと考え、市の見解を聞きたい。

回答 本市としても、市民がやってみようと思える仕掛けを、COOL CHOICE以外にもつくってほしいと考えている。その一環として、来年度から、小学校4年生と児童クラブ等の子どもたちに対し、地球温暖化や食品ロスに関する取組等を行う予定である。

コロナ禍の学び ICT活用を進める

質問 いまだコロナの収束が見通せない状況下で、感染の不安から自主休校を選択している家庭の実情について、どのように把握しているのか聞きたい。

(※)ISO14001…環境マネジメントシステムに関する国際規格。社会経済的ニーズとバランスを取りながら、環境を保護し、変化する環境状態に対応するための組織の枠組みを示すもの。